

取 扱 説 明 書

MSG-2530

MSG-2530 Control Program

Ver.1.20

種別番号 2100-344-002

目次

1	概要	2
1.1	概要	2
2	セットアップ	2
2.1	動作環境	2
2.2	インターフェイス	2
3	インストール	3
3.1	インストール前準備	3
3.2	インストール方法	3
3.3	アンインストール方法	3
3.4	USB Serial Ports Driver のインストール	4
3.5	USB Serial Ports Driver の COM ポート番号の確認	6
4	起動方法	8
4.1	本ソフトウェアの起動方法	8
4.2	Norton・AntiVirus の SONAR 機能でアプリケーションが削除される	8
5	画面構成	12
5.1	メニューバー	13
5.2	REMOTE	14
5.3	発信ユニットの設定	16
5.3.1.	周波数の設定	17
5.3.2.	レベルの設定	17
5.3.3.	AF と変調度の設定	18

1 概要

1.1 概要

本ソフトウェア MSG-2530 Control Program は、MSG-2530 本体をリモート操作するためのソフトウェアです。

この取扱説明書では、MSG-2530 Control Program の使用方法を解説しています。

MSG-2530 本体のリモート操作は、USB ケーブルで接続されたコンピュータから行います。

MSG-2530 本体の各発信ユニットの周波数、出力レベル、変調度の設定が可能です。

2 セットアップ

2.1 動作環境

本ソフトウェアは Microsoft Windows OS の動作環境が必要です。

本ソフトウェアを動作させるために必要なコンピュータと環境の条件を以下に示します。

- ・ OS : Microsoft Windows XP、Windows 7
- ・ CPU : Intel、AMD 1GHz 以上のプロセッサ
- ・ Memory : 1GB 以上
- ・ HDD 空き容量 : 1GB 以上
- ・ CD-ROMドライブ : インストール時に必要
- ・ インターフェイス : USB が 1 口以上
- ・ 画面解像度 : 1024 × 768 以上 DPI 96dpi 固定
- ・ その他 : .NET Framework Ver.4.0 のインストールが必要です。
(Windows 7 は標準でインストール済みの場合もあります)

2.2 インターフェイス

USB の通信条件を以下に示します。

- USB 規格 : USB2.0
- ケーブルの種類 : USB2.0 対応 標準 A、B プラグケーブル
- MSG-2530 のコネクタ : 標準 B レセクタプル

MSG-2530 との USB 通信は、仮想 COM ポート ドライバで行います。

3 インストール

3.1 インストール前準備

本ソフトウェアを使用するためには、マイクロソフト社の「**.NET Framework Ver.4.0**」が必要になります。

(Windows 7 は標準でインストール済みの場合もあります)

付属 CD の「dotNetFx40_Full_x86_x64.exe」、またはマイクロソフト社のホームページよりダウンロードしてインストールします。
ホームページの URL は以下の通りです。

下記の URL はマイクロソフト社により前触れなく変更されることがあります。

<http://www.microsoft.com/ja-jp/download/details.aspx?id=17718>

上記のホームページが表示されない場合は、下記の URL から「.NET Framework Ver.4.0」を検索して下さい。

<http://www.microsoft.com/>

3.2 インストール方法

付属 CD のフォルダをハードディスクの任意のフォルダにコピーします。

- 1、コンピュータの電源を ON にして Windows OS を起動します。
- 2、CD ドライブに付属 CD を挿入します。
- 3、ディスプレイのマイコンピュータより付属 CD を挿入した CD ドライブを選択します。
- 4、挿入した CD ドライブの「MSG-2530」フォルダをハードディスクの任意のフォルダにコピーをします。

3.3 アンインストール方法

インストール方法で付属 CD からハードディスクへコピーしたフォルダを削除します。

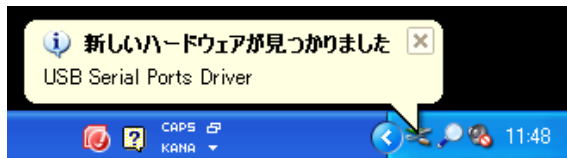
- 1、コンピュータの電源を ON にして Windows OS を起動します。
- 2、ディスプレイのマイコンピュータを開きます。
- 3、インストール方法でハードディスクにコピーした「MSG-2530」フォルダを選択します。
- 4、フォルダを削除します。

3.4 USB Serial Ports Driverのインストール

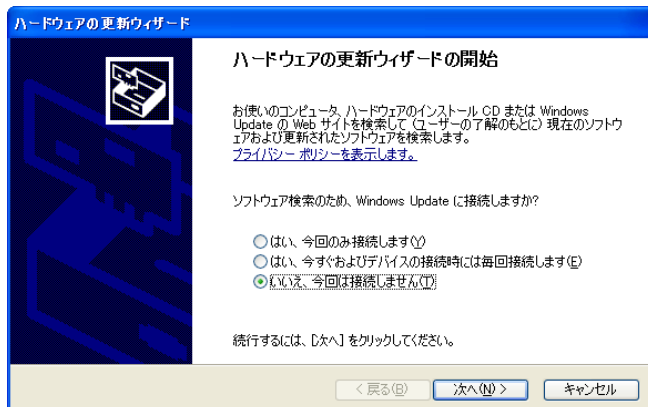
コンピュータと MSG-2530 の USB 通信を有効にするためには初回接続時に USB Serial Ports Driver のインストールが必要になります。(Windows7 の場合、自動認識されインストール無しで使用可能になる場合もあります)

USB インターフェイスは仮想 COM ポートとして通信を行います。

- 1、コンピュータの電源を ON にして Windows OS を起動します。
- 2、本器の電源を ON にします。
- 3、本器に USB ケーブル B コネクタを接続します。
- 4、コンピュータに USB ケーブル A コネクタを接続します。
- 5、コンピュータが新しいデバイスを認識します。



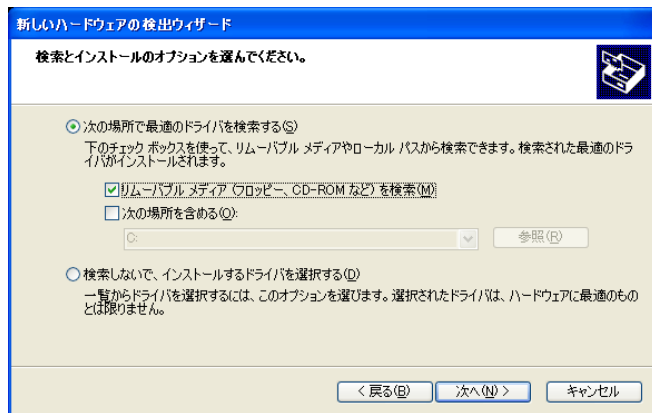
- 6、コンピュータのハードウェアの更新ウィザードが開始します。
- 7、ハードウェアの更新ウィザードの「いいえ、今回は接続しません。」を選択して、「次へ」ボタンを選択します。



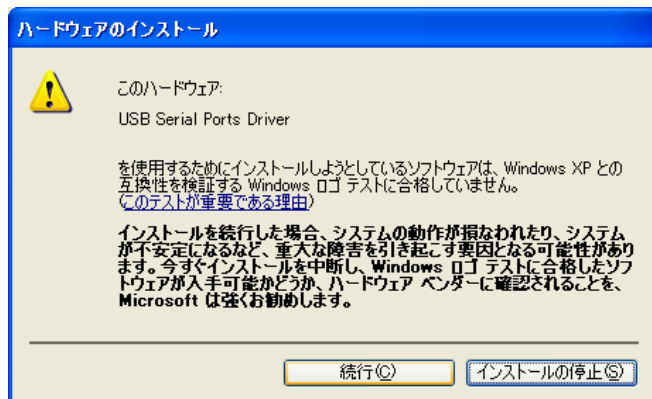
- 8、コンピュータの CD ドライブに MSG-2530 付属 CD を挿入します。
- 9、ハードウェアの更新ウィザードの「一覧または特定の場所からインストールする(詳細)」を選択して、「次へ」ボタンを選択します。



- 10、「次の場所で最適なドライバを検索する。」を選択して、「リムーバブルメディア(フロッピー、CD-ROM など)を検索」を選択して、「次へ」ボタンを選択します。



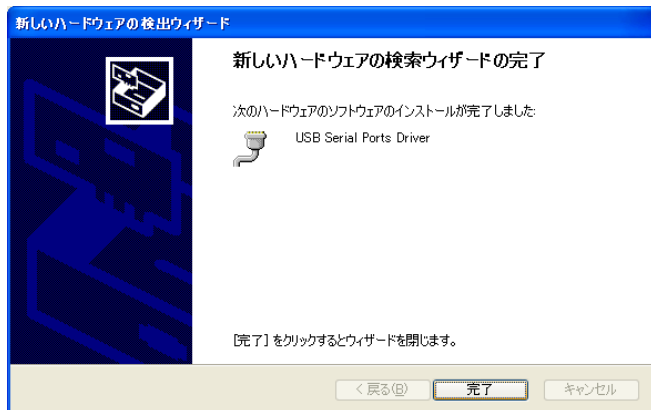
- 11、ハードウェアのインストールウィンドウが表示されます。「続行」ボタンを選択します。



- 12、本器の USB ドライバがインストールされます。



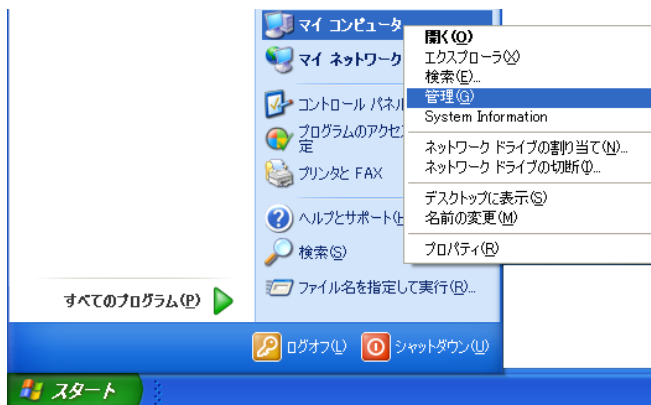
13、「完了」ボタンを押すと USB Serial Ports Driver のインストールが完了します。



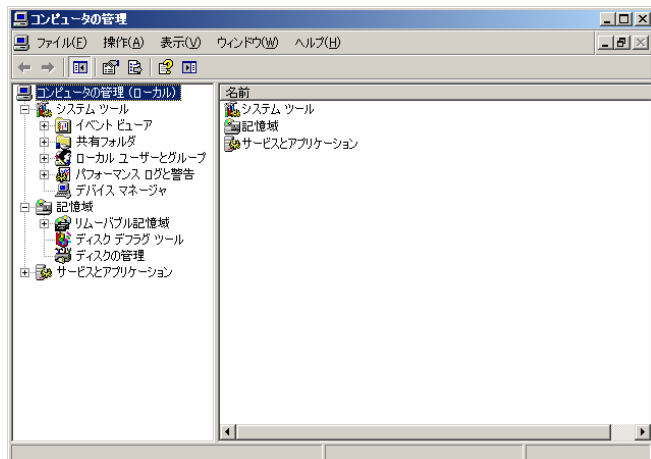
USB Serial Ports Driver のインストールを終了します。

3.5 USB Serial Ports DriverのCOMポート番号の確認

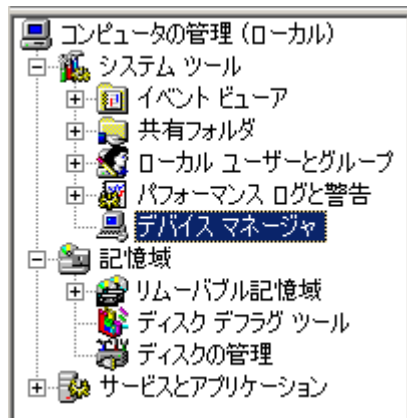
1、マイ コンピュータで右クリックを行い、コンテキストメニューの管理メニューを選択します。



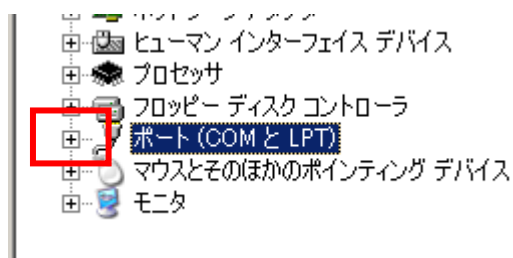
2、コンピュータの管理ウィンドウが表示されます。



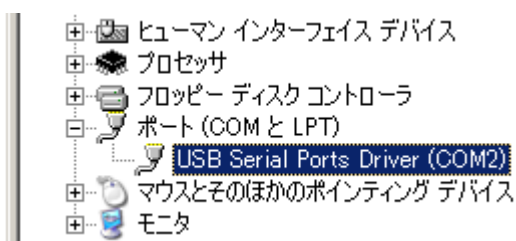
3、 下図のデバイス マネージャを選択します。



4、 下図のポート(COM と LPT)ツリーを展開します。



5、 ポート(COM と LPT)に「USB Serial Ports Driver」とポート番号が表示されます。ポート番号(COM*)はコンピュータの環境により異なります。



4 起動方法

4.1 本ソフトウェアの起動方法

- 1、ディスプレイのマイコンピュータを選択します。
- 2、インストール方法で付属 CD から任意にハードディスクにコピーしたフォルダを開きます。
- 3、「MSG-2530.exe」ファイルをダブルクリックします。
- 4、本ソフトウェアが起動されます。

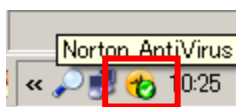
4.2 Norton・AntiVirusのSONAR機能でアプリケーションが削除される

シマンテック社の製品名 Norton・AntiVirus をコンピュータにインストールされている場合にアプリケーションファイル(EXE ファイル)が SONAR 機能により削除されることがあります。

削除されたアプリケーションファイルを復元方法とスキヤンの除外を下記に示します。お使いの Norton・AntiVirus 製品によりウィンドウと名称の配置が異なることがあります。詳細については、シマンテック社のホームページを参照してください。

<http://www.symantec.com/index.jsp>

- 1、ディスプレイの右下のタスクの Norton・AntiVirus のアイコンを選択します。



- 2、Norton・AntiVirus のウィンドウが表示されます。「検疫」を選択します。

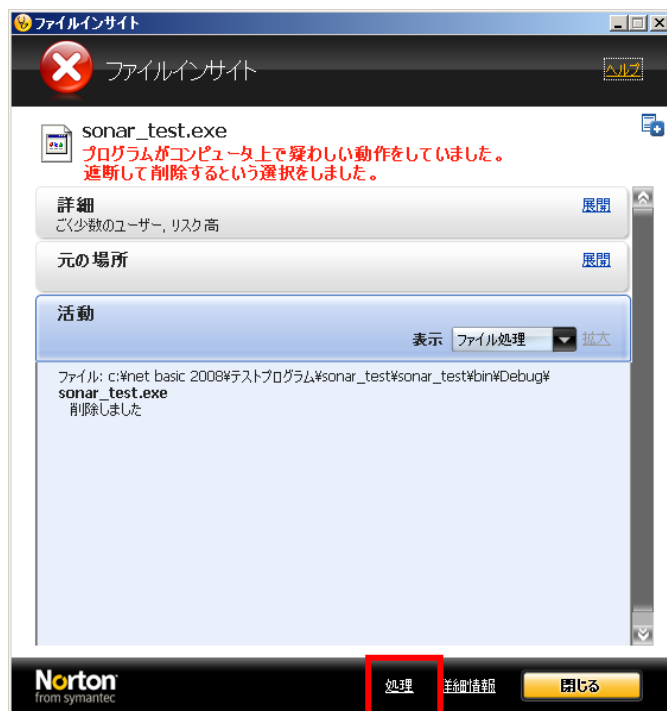


3、セキュリティ履歴ウィンドウが表示されます。

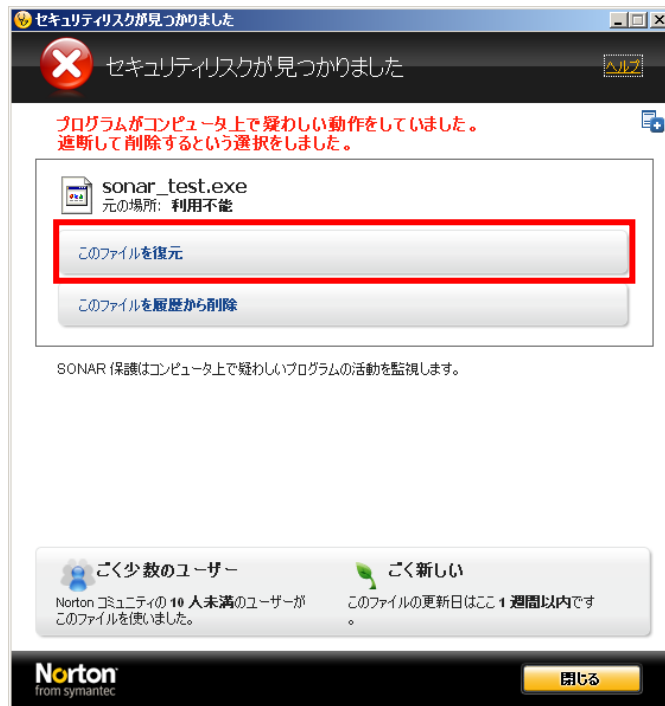
リストの削除されたアプリケーションファイルを選択して、「詳細」を選択します。



4、ファイルインサイトウィンドウが表示されます。「処理」を選択します。

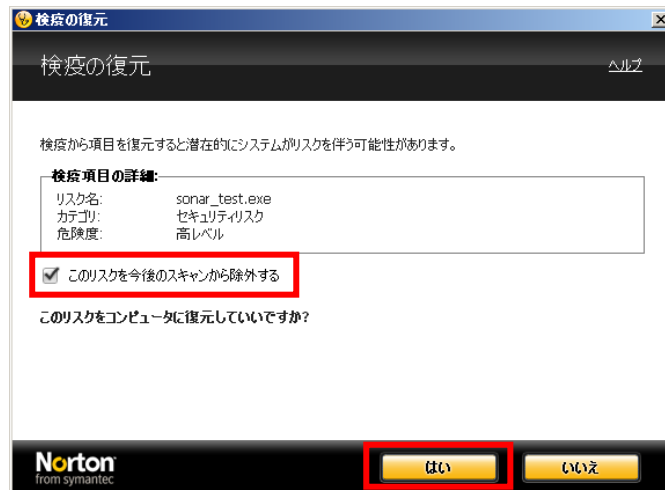


5、新しいウィンドウが表示されます。「このファイルを復元」を選択します。



6、検疫の復元ウィンドウが表示されます。

「このリスクを今後のスキャンから除外する」を**必ず有効に**してから、「はい」を選択します。



7、ファイルの復元とスキヤンの除外を行います。

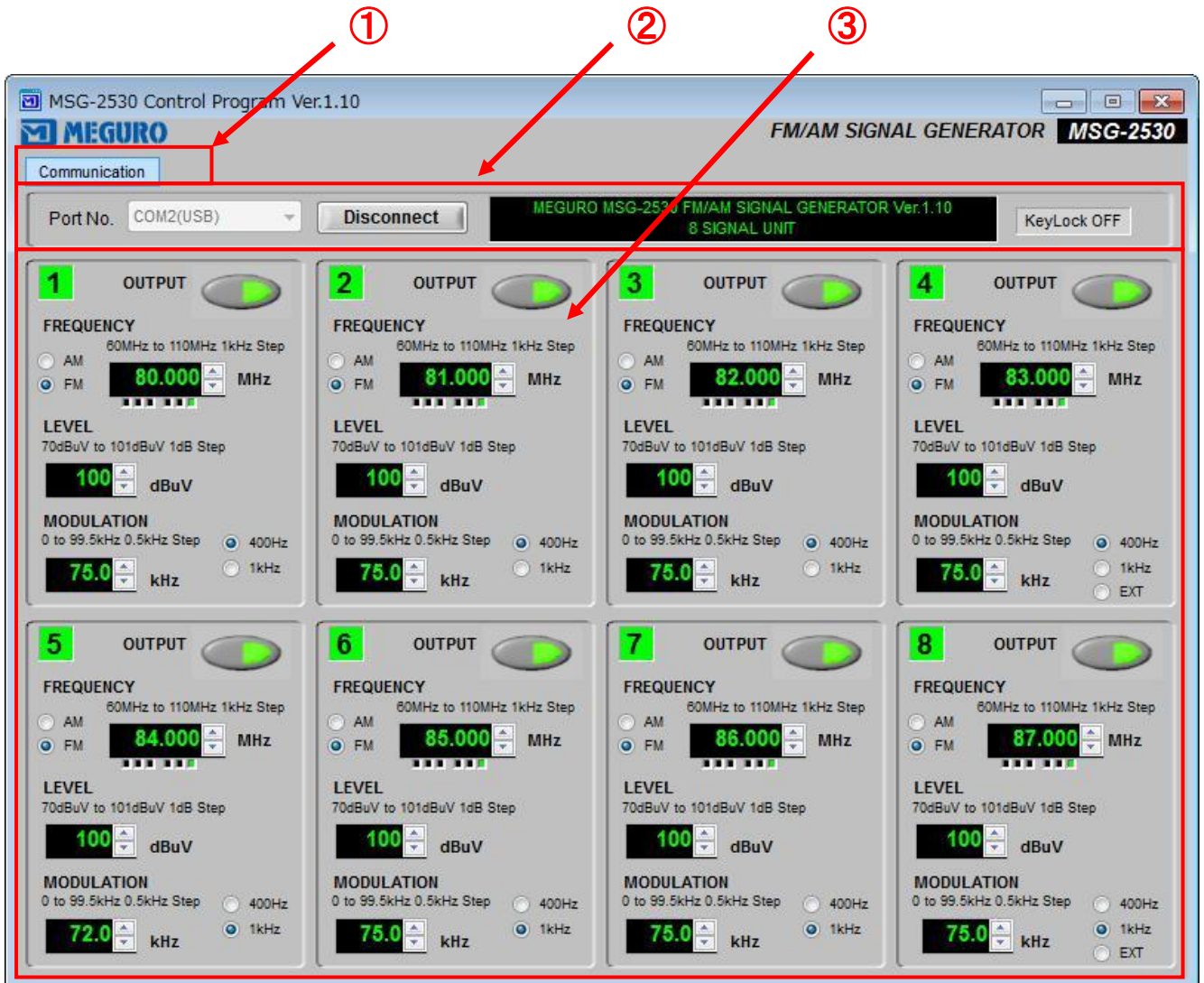


8、「閉じる」を選択します。

9、Norton・AntiVirus のウィンドウをすべて閉じます。

以上で、アプリケーションファイルの復元方法とスキヤン除外方法を終了します。

5 画面構成



① メニューバー

コマンドを実行します。

② REMOTE

MSG-2530 と通信を行います。

③ 発信ユニットの設定

本ソフトウェアと接続した MSG-2530 本体の各発信ユニットの設定を行います。

5.1 メニューバー

•Communication

***注意1: REMOTE の通信が可能な状態で操作が行えます。**



•Keylock

MSG-2530 本体のキー操作による設定変更ができないように編集キー「ENTER」をロックします。
本体の設定内容の確認操作はできます。



- KeyLock ON : 本体の編集キー「ENTER」をロック、編集操作不可
- KeyLock OFF : 全てのキー操作可能

•Store/Recall

MSG-2530 本体の設定を内部メモリーに保存とメモリーからの読出しを行います。



- STORE : 本体の設定をメモリーに保存します。
- RECALL : 本体の設定をメモリーに保存した設定に戻します。

•Initialize

MSG-2530 本体をイニシャライズ(初期化)します。



画面中央の「Initialize」をチェックして「OK」ボタンで実行されます。

MSG-2530 本体の設定が工場出荷状態に初期化され、「STORE」でメモリーに保存された設定も削除されます。

MSG-2530 本体設定	工場出荷時の設定（詳細は本体の取扱説明書を参照して下さい）
「STORE」されたメモリーの設定	削除
Key Lock	OFF（すべてのキー操作可能）

5.2 REMOTE



•Port No.

本ソフトウェアで通信を行う MSG-2530 本体の仮想 COM ポート番号を選択します。

*** 注意 1: コンピュータと MSG-2530 本体を USB ケーブルで接続すると「ポート番号(USB)」が表示されます。**

*** 注意 2: ポート番号が表示されているのに「Connect」ボタンを選択しても接続ができない場合は USB ケーブルを抜いて 5秒以上待ってから USB ケーブルを接続し直します。**

•Connect

「Connect」ボタンにより、通信の接続または切断を行います。

接続を行うと MSG-2530 本体と同期を行い、接続が完了すると本体バージョンが表示されます。

接続中は「Connect」ボタンが、「Disconnect」ボタンに変化します。



「Connect」 : MSG-2530 と通信を開始します

「Disconnect」 : MSG-2530 との通信を切断します。

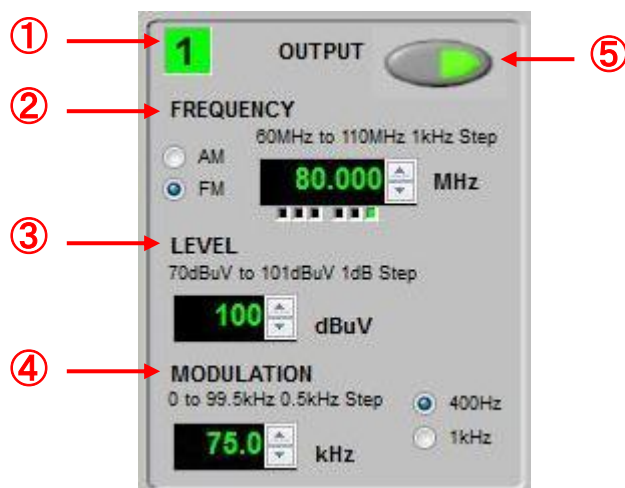
***注意1：通信中は USB ケーブルを本体から抜かないようにしてください。必ず切断してから USB ケーブルを本体から抜いてください。**

•Keylock 表示

MSG-2530 本体と接続が完了後、本体のキーロックが ON の場合「Keylock ON」(緑)が表示されます。

5.3 発信ユニットの設定

MSG-2530 本体の発信ユニット単位の設定を操作します。



① 発信ユニット番号

② FREQUENCY

AM/FM の選択と出力周波数の設定

AM: 0.100MHz ~ 30.000MHz (1kHz Step)

FM: 60.000MHz ~ 110.000MHz (1kHz Step)

周波数表示下の■は、設定値のアップダウンを行う桁が選択できます。

③ LEVEL

出力レベルの設定

70dB μ V ~ 101dB μ V (1dB μ V Step)

④ MODULATION

変調度と AF 周波数設定

AM: 0% ~ 50% (1% Step) AF: 400Hz/1kHz

FM: 0kHz ~ 99.5kHz (0.5kHz Step) AF: 400Hz/1kHz/EXT

⑤ OUTPUT

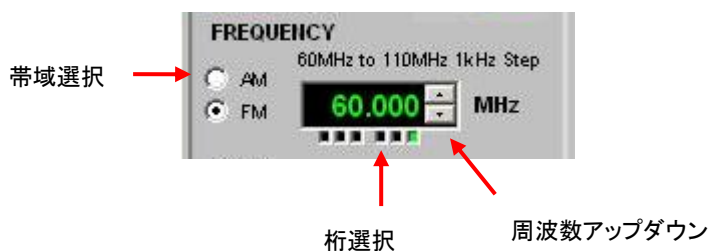
信号出力の ON/OFF

OUTPUT ボタン消灯 : この発信ユニットの出力 OFF

OUTPUT ボタン点灯(緑) : この発信ユニットの出力 ON

*** 注意1: AF の EXT は、発信ユニット 4 番と 8 番のみ選択可能です。**

5.3.1. 周波数の設定



「帯域選択」により周波数帯域を選択します。

FM/AM により設定できる範囲が異なります。

AM 設定範囲: 0.100MHz ~ 30.000MHz (1kHz Step)

FM 設定範囲: 60.000MHz ~ 110.000MHz (1kHz Step)

「桁選択」で選択(緑表示)されている桁が、「アップダウン」により変化します。

キーボードによる直接入力も可能です。

周波数表示にマウスカーソルを合わせ、クリックすることで編集状態になります。

編集中は、数値表示が白バックで表示されます。

任意の数値を入力し、「Enter」キーで確定します。

*** 注意1: 設定変更した時点で MSG-2530 に設定が反映されますので、過度に連続的な設定変更を行うと本体との通信が停滞する場合がありますので注意して下さい。**

5.3.2. レベルの設定



レベルアップダウン

レベルアップダウンにより、出力レベルを 1dB ステップで設定します。

レベル設定範囲: 70dB μ V ~ 101dB μ V (1dB μ V Step)

キーボードによる直接入力も可能です。

レベル表示にマウスカーソルを合わせ、クリックすることで編集状態になります。

編集中は、数値表示が白バックで表示されます。

任意の数値を入力し、「Enter」キーで確定します。

*** 注意1: 設定変更した時点で MSG-2530 に設定が反映されますので、過度に連続的な設定変更を行うと本体との通信が停滞する場合がありますので注意して下さい。**

5.3.3. AFと変調度の設定



変調度アップダウンにより、変調度を設定します。

FM/AM により設定できる範囲が異なります。

AM の場合： 0% ~ 50% (1% Step)

AF： 400Hz/1kHz

FM の場合： 0kHz ~ 99.5kHz (0.5kHz Step)

AF： 400Hz/1kHz/EXT

キーボードによる直接入力も可能です。

変調度にマウスカーソルを合わせ、クリックすることで編集状態になります。


編集中は、数値表示が白バックで表示されます。

任意の数値を入力し、「Enter」キーで確定します。

AF 選択の「EXT」は発信ユニット 4 番または発信ユニット 8 番の場合のみ選択可能です。

*** 注意 1： 設定変更した時点で MSG-2530 に設定が反映されますので、過度に連続的な設定変更を行うと本体との通信が停滞する場合がありますので注意して下さい。**

Microsoft, Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国及びその他の国における登録商標または商標です。
Windows の正式名称は、Microsoft Windows Operating System です。

MEGURO ロゴマーク  MEGURO は、商標登録されています。
本製品および取扱説明書の一部または全部の転載、複写は著作権者の承諾が必要です。
製品仕様ならびに取扱説明書の内容は予告なく変更することがあります。

Copyright ©KEISOKU GIKEN Co., Ltd. All rights reserved.